

# 団面接:豊中第2団に入団するにあたって

豊中第2団育成会、団委員会

## 1. やくそく: 入団願書でお願いしていること

「私共」とは、保護者の皆さんです。豊中第2団は、地域の仲間が運営している組織です。あなたも豊中第2団育成会の仲間の一員として運営に参加し、お子さんのスカウトや仲間のスカウトと一緒に教育する活動に取り組んでいただきます。そのためには、皆さんの持っている力を、ボーイスカウト活動の組織、活動方針、理念を理解することに注いでいただくようお願いいたします。団委員会の役割の資料をお渡しします。

(1)私共、保護者は下記のボーイスカウト運動が、家庭と子ども(以下「スカウト」という)をつなぐ社会教育運動であることを理解します。

ー ボーイスカウトの活動は、スカウトを「よりよき社会人を育てる」目的のために、**野外活動**を通じて、**班(組)制度**の体制で活動し、スカウトを成長させる**進歩制度**を設けています。

(2)私共、保護者は日本ボーイスカウト大阪連盟 豊中第二団の団運営・団活動及びスカウトが所属する隊運営・隊活動には、他のスカウトの保護者と同様 積極的に協力します。

ー ボーイスカウトの基本方針を理解していただくために、講習会に参加していただきます。目的は、基本方針が実際に実行されるように活動に協力したり、活動が基本方針に沿って実施されるように、さらに教育効果が高まるように、団の方針や隊の活動方針を考えていただくことです。

(3)私共、保護者は安全確保・危害予防に関して、通常必要な注意を払って計画・実施した活動中に発生した傷害については、関係指導者の責任を問いません。

ー 豊中第2団は、活動に際し、安全対策マニュアルを準備し、隊活動には必ず下見を行い、実施計画書、報告書を作成し、**団委員会の承認**を得て実施しています。万が一事故が発生した場合には、被害が最小限となる対応措置マニュアルを作成し、毎年訓練を実施しています。活動する際には、登録者は保険に加入していただいていますし、未登録の保護者や家族、また外部の参加者には、その都度で保険を掛けています。

## 2. スカウトの活動の体制

「やくそく」をする → 入隊式、上進式で、仲間の一員になったことを認めてもらう。スカウトの活動を開始する。

隊集会の活動 → 「やくそく」と「きまり(さだめ)」の**実践**。「ちかいとおきて」の実践を体得する。日常活動でも。

隊集会の承認 → 下見 → 実施計画書の作成 → 団会議で説明 → **団委員会で承認** → 実施可能に。  
「**教育目標の設定と実現する具体的なプログラムの作成(教育が目的でプログラムは手段)**」



楽しく目標を達成する。 ・野外において自然に親しみながら、・班(組)制度でリーダーシップを養成しながら、  
・各スカウトの進歩の目標を実現する。

ーCSスカウトは、カブブック、チャレンジ章取得。BSスカウト以上は、技能章取得。

ー木の葉章、小枝章、うさぎ、しか、くま章、初級、2級、1級、菊章、ベンチャー章、隼章、富士章



隊集会の報告 → 団メールで団全体に目標の成果を報告する。HPに活動を掲載する。

「**全員が活動状況、目標と成果を知る。各スカウトの活動を知る。理解を深める。期待を高める。**」

## 3. 保護者、指導者の研修

保護者にボーイスカウト講習会に参加してもらいます。将来は、デンリーダー、副長、隊長、団委員で生涯学習。各隊指導者は、活動の指導者として知識と技能を習得するために、BS講習会、ウッドバツジ研修所、実修所に参加します。また、各種非定型研修会に参加しています。安全講習、技能研修など。セーフ・フロム・ハームの実践。団委員は、団運営研修所、実修所に参加します。団では、研修履歴を記録し、研修計画を立てています。

## 4. ボーイスカウト活動を楽しもう : 組織の団結力の強化、コミュニケーションを通じて、組織の維持、拡大活動

・仲良くしよう : 合同運動会、親子ハイク、スカウト祭、スキーを楽しもう。楽しく頑張り、共感できる喜び。  
・仲間を増やそう : わくわくカーニバルやロコミ活動。地域との連携が重要。奉仕活動で存在感をアピールする。

## 5. 2団の特徴を強化しよう

世界のスカウトとの交流を目指して、活動で英語を使おう。HPで2団の魅力を情報発信しよう。団メールの活用。エンターテイメント能力を高め、思いやりと感謝の心を持って、社会のリーダーになろう。